

# 第 1 回 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

## 会 議 録

1. 会議名 第 1 回北杜市中部横断自動車道活用検討委員会
2. 開催日時 平成 25 年 7 月 16 日（火） 午後 4 時～午後 5 時 30 分
3. 開催場所 北杜市役所 西会議室
  
4. 出席者（敬称略）  
出席委員：大山 勲、雨宮正行、原かつみ、輿水順彦、浅川力三、  
堀川千秋（代理：小池）、仲澤幸雄、三井 茂、白倉秀雄、清水 勲  
向 一字、進藤幸夫、長坂良一、小幡 宏、細川 淳、中村 学、坂本正輝  
浅川一彦  
欠席委員：坂本伴和  
事務局：伏見建設部長、清水建設部次長、土屋道路河川課長、道路河川課維持管理担  
当中田、小尾

会議録署名委員 坂本正輝、浅川一彦

### 5. 議題

- ① 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会設置要綱の説明
- ② 役員選出
- ③ 委員長あいさつ
- ④ 議事
  - (1)委員会運営要領等について
  - (2)中部横断自動車道（長坂～八千穂）事業説明
  - (3)その他
- ⑤ 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 10 人

8. 審議内容（司会進行：事務局）

- ① 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会設置要綱の説明  
事務局より、資料に基づき設置要綱について説明。

## 2 役員選出

事務局より、検討委員会設置要綱第 5 条について説明。

事務局（案）を提案し、異議なく承認される。

委員長：大山 勲 副委員長：興水順彦

## 3 委員長あいさつ

- ・中部横断自動車道は国の骨格を作る道路。
- ・地域の活性化にとって大きなチャンスにもなる。いかにチャンスにするかこの地域のまちづくりが重要。
- ・ここは環境・景観への関心が高い地域である。
- ・ルート構造の検討やまちづくりについてどう考えるかは、環境アセスメントの結果が出てからでは遅いので、少し前から議論をするという認識。

## 4 議事

（検討委員会設置要綱第 6 条 2 項の規定により大山委員長に議長をお願いする。）

### (1)委員会運営要領について

- ・事務局より、資料に基づき運営要領について説明。
- ・参考に北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱について資料に基づき説明。

（委員長）会議が原則的に公開であれば、議事録も公開。運営要領についての可否を求める。

（委員）異議なく承認。

### (2)中部横断自動車道（長坂～八千穂）事業説明

（委員長）中部横断自動車道（長坂～八千穂）事業説明を国に要請

（説明者）資料に基づき説明。

（委員長）質疑を求める。

現時点ではB案で手続きは決定しているということ。この中で今後景観・環境に配慮しながら、地域のまちづくりとの連携を考えていく。

（説明者）小委員会への報告があるが、ワーキングの任務としてそれを絞ったということで、実質的にはこのルートが決定に近い。今後、この1km幅の中で環境・景観等の要望を踏まえてルート・構造を決定していく。

（委員）資料の第7回関東地方小委員会へワーキングの意見が上がっていくのか。

（説明者）そのとおり。

（委員）その時期は。

（説明者）未定。

（委員長）第7回のおおよそのタイミングは。

（説明者）まだ未調整。

（委員）ルートB案について、この1km幅で大体決定か。

（説明者）ルート帯についてはこの形で決定。今後小委員会へ報告していく。

(委員) このルート案は承知しているがもう少し詳しい北端、南端くらの場所が知りたい。

(説明者) 具体的には未検討。今後環境調査・測量・設計を行い決定していく。

(委員) 集落への影響が心配。大体の位置がわかればありがたい。

(事務局) 集落への影響も含め、今後国への提言の中で、地域が大事に守らなければならないものを検討し委員会としての方向性を市として整理し、国へ要望していく。

(委員長) 一般的には環境アセスメントの中でルート設定が検討されるが、ここでは地域の地元の人たちが大事に守りたい情報を加えながらルート設定に必要な条件の具体的なところを決めていくという理解でよいか。

(説明者) 今後アセスを進めながら少しずつ幅が狭まってくるが、それを決めるための与条件はどのようなものがあるのか委員会の意見を参考にしていきたい。

(委員) 了解

(委員) 今回のルートは、積雪地帯を通行する。高速道路が通行止めになり一般の生活道路に影響がでないよう雪道に強い高速道路を要望。

(委員長) そういう多くの意見を今後いただきたい。特に地元区長の方々は地域に戻り、意見を吸い上げていただきたい。

(副委員長) B案という1km幅で大体決まっているが、この幅の中で意見の制約はないか。インターチェンジも含めてフリーな話をしてよいか。

(説明者) 良い。ただ、インターチェンジは連結可能位置2つを想定している。その中で意見を頂ければと思っている。技術的に出来るところと出来ないところがあるので、大まかに2箇所を示している。

(委員長) 今後いろいろな意見が出る。すべての条件を満たすことは難しいが、不可能な場合は国の方で十分な説明をお願いしたい。

(説明者) 了解。全てが可能ということではないが、極力意向に応えられるように努力したい。

(委員) 先ほどのインターの話で、サービスエリアの設置は可能か。景観のPRや地場産業・販売ができるような形が良いと思う。

(説明者) 事業主体が決まっていないのでわからないが、直轄の場合は基本的にSAやPAは設けていない。例えば道の駅など様々な工夫の中で詰めていければと考える。

(委員) ここを通過する人がサービスエリアに立ち寄ることで、地域への誘導が期待される。(景観・直売等)

(説明者) この先要望をもらう中で工夫、検討していきたい。

### (3)その他

(事務局) 今後の予定について説明

- ・第 2 回以降はまちづくり構想を検討するための地域活性化に関することを議論。それから自動車道の整備に関することを議論していく。
- ・日程については、委員長と調整し通知する。
- ・この検討委員会は長い期間であるが協力をお願いしたい。

(委員長) 今後自動車道の活用という大きな方向と自然環境を守るという課題について整理しながら委員会の中で議論していきたい。

以上議事終了

(事務局) 本日の議事録は作成後各委員に確認いただき、後日北杜市HPに掲載予定。

5 閉 会 副委員長

会議終了 午後 5 時 30 分